

# 議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団  
電話 0463-23-1111 (内線 2375)  
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室  
No.1074 2010年5月9日発行

## 日本共産党平塚市議会議員団

団長 渡辺敏光  
電話・fax 31-6431  
w-toshi@agate.plala.or.jp  
松本敏子  
電話・fax 59-4607  
mail2@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談  
今回は6月19日(土)です。  
午後1時から (要予約)

## 第81回平塚地域中央メーデー すべての労働者に安定した雇用を



後列は、挨拶する渡辺敏光平塚市議団  
団長、前列左から二宮町：鳥海・城所町  
議、大磯町：鈴木議員、平塚：高山くら  
し福祉相談室長、松本市議。

【メインスローガン】  
＝働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、  
中立の日本をめざそう＝

5月1日、平塚八幡山公園にお  
いて平塚地域中央メーデーが行  
われました。

五月晴れの中、9時45分から  
の式典では、各界からの連帯の  
挨拶に続き、メーデー宣言と平塚  
地域中央メーデーが掲げたそれ  
ぞれの自治体に対する要望書が  
読み上げられ、全体で採択されま  
した。

## メーデー宣言

### 平塚市民の皆さん

私たちは、本日たたかうメーデーの  
歴史と伝統を受け継ぎ「働くものの団結  
で生活と権利を守り、憲法改悪を許さ  
ず、平和で中立の日本をめざそう」のス  
ローガンのもと、国民犠牲の悪政への  
怒りと切実な要求を結集し、第81回平  
塚地域中央メーデーを大きく成功させ  
ました。

### すべての労働者・国民のみなさん！

昨年、不況を口実にした大企業の大量  
派遣切りがマスコミで取り上げられ、  
貧困と格差の是正を求める声が、世論  
を動かし「自公政治」NOの厳しい審判  
を下しました。

私たちが新しい政権に求めるもの  
は、景気回復による生活改善と構造改  
革路線によって拡大した非正規・低賃  
金労働者の安定雇用、改悪され続けて  
きた医療、年金などの社会保障の充実  
です。

大企業の内部留保は、この10年で2  
00兆円拡大し、この不況下でも史上空  
前の大もうけを続けています。この利益  
は、働く労働者の賃金の抑制と非正規  
への置き換え、下請け企業への単価の  
引き下げによって生み出されたもので  
す。

大企業の巨額な内部留保の一部を  
取り崩せば、雇用の維持と賃金底上げ  
などによる内需中心の経済に転換する  
ことは可能です。非正規の正規化、サ  
ービス残業根絶、年休取得など人間ら  
しく働くルールの厳守で、雇用創出と、  
経済を活性化させることができます。

平和の願いでは、軍事同盟の解体・



大蔵市長も出席され、連帯の挨拶。

縮小が世界の流れであり、日米安  
保条約改定50年の節目にアメリカ  
言いなりの政治を改め、日本のどこ  
にも新たな米軍基地を造らせず、普  
天間基地の即時撤去の実現です。  
2010年国民春闘は「政治を変えたい」と願う国民との共同の中で闘わ  
れています。

この共同は大きな変化を生み出せ  
る絶好のチャンスです。

私たちは、大企業優先の政治を変  
え、賃金の底上げのための全国一  
律最低賃金制度の確立と引き上  
げ、自治体が発注する契約におい  
て、労働者の賃金を保障させる「公  
契約条例」制定の実現など、真の景  
気回復・国民要求実現のために、2  
010年国民春闘をねばり強く闘うこ  
とが求められています。

本日結集した私たちは、憲法をまも  
り、暮らしに活かし、平和な日本、安  
心安全な社会をつくるため、全国の  
仲間とともにこの異常な社会を正す  
ために全力で奮闘することを宣言し  
ます。

2010年5月1日  
第81回平塚地域中央メーデー



落書き防止策で

あらたな名所誕生

今年4月にオープンした「花菜ガーデン」への進入路(県道秦野線から通じる新しい道)の下に、地元の方々が利用するトンネルがあります。

このトンネルの壁に最近落書きをされ、地元自治会では、それを消すのに大変苦労をしていました。

「落書きをされないように、絵を描こう」ということになり、金田小学校、金旭中学校、平塚養護学校の生徒、先生、地元自治会、金田福祉村、そして平塚をみがかやペイント会社など多くの協力を得て、4月24日・25日の2日間で、「金田」にふさわしい素晴らしい絵が描かれました。



共同作業に目を細める場面も見られました。「花菜ガーデン」や「あさつゆ広場」に出かけた折に、地域の総力が結集した素晴らしい作品もご覧ください。

花アグリにふさわしいイチゴやレンゲの花、ミツバチ、桜に富士山、新幹線、カワセミなどの下絵に次々と色が塗られていきます。「大きくなって、これをおじいちゃんと描いたことを忘れないでよ」と、孫との



今年で63回目の憲法記念日  
平和について考える日について

毎年、共産党市議団は5月3日には「憲法記念日 宣伝行動」を行っています。今年も、地域の共産党とともに宣伝カーで市内各地をまわり、総勢15人で35ヶ所で語り、車からも「憲法記念日」の意義を訴えました。

1947年5月3日に発布された日本国憲法は、3つの柱からできていて、これが憲法の基礎となっています。

その1つは、国を治める主権は国民にあるという「国民主権」

2つ目は、人間が生まれながらにして持っている、人間らしく生きる権利を永久に保障する「基本的人権の尊重」

3つ目は、世界の平和を永久に守るため、外国との争いが起きても戦争をしないで平和的に解決するという「平和主義」

今も、世界のいたるところで戦争や争いごとが起こり、多くの人々が殺されています。いまや「平和」と「戦争の放棄」への希求は、人類の叫びとなっています。

北海道新聞では、今日を「日本国憲法の理念を確認し、いまの政治が憲法の目指す方向に合致しているのかを点検する絶好の機会」としています。朝日新聞では、全国世論調査を実施し、戦争放棄と戦力をもたないと定めた憲法9条は「変えない方がよい」は67%で、「変えた方がよい」の24%を大きく上回ったと報じています。こうしたマスコミの報道をチェックする機会でもあるといえます。

宣伝行動では、各地で通りかかった人たちから、温かい声援をいただきました。

「ひらつか9条の会」も  
駅頭で宣伝と署名行動

「ひらつか9条の会」では、5月3日、平塚駅北口で9条の会のしおりを配り、9条を守るための署名行動を行いました。

買い物帰りの市民、市外の人も快く署名に応じてくれました。自公政権が、改憲に躍起になっていた頃とは、市民の反応が大分変わってきています。

